

## 1 委員の委嘱について

大和市附属機関の設置に関する条例第2条の規程に基づき令和3年9月1日から令和5年8月31日までの期間、大和市消防運営審議会委員のみなさまには、消防行政の円滑な運営を図るために必要な事項につき、市長の諮問に応じて調査審議していただき、その結果を報告していただきます。

諮問事項以外に関しても、ご意見をいただく場合がございます。

## ○大和市附属機関の設置に関する条例 ～ 抜粋 ～

昭和33年5月1日条例第9号

(趣旨)

**第1条** 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定による附属機関の設置に関しては、他の法令に特別の定めがあるものを除くほか、この条例の定めるところによる。

(設置)

**第2条** 執行機関の附属機関として、別表に掲げるものを置く。

(委任)

**第3条** 前条に規定する附属機関の組織、所掌事項及び委員その他の構成員並びにその運営に関して必要な事項は、規則で定める。

**附則**

この条例は、公布の日から施行する。

**別表 (第2条関係)**

附属機関	設置目的	委員の数
大和市消防運営審議会	消防行政の円滑な運営を図るために必要な事項につき、市長の諮問に応じて調査審議し、その結果を報告する。	10人以内

大和市消防運営審議会規則

昭和 35 年 10 月 7 日規則第 12 号

(趣旨)

**第 1 条** この規則は、大和市附属機関の設置に関する条例(昭和 33 年大和町条例第 9 号)により設置された大和市消防運営審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員)

**第 2 条** 委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命する。

- (1) 消防団の役員の職にある者
- (2) 知識経験を有する者
- (3) その他市長が必要と認めた者

(会長)

**第 3 条** 審議会に会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する。

(任期)

**第 4 条** 委員の任期は、2 年とし、再任されることを妨げない。

- 2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

**第 5 条** 審議会は、会長が招集する。

- 2 審議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(その他)

**第 6 条** この規則に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、市長が定める。

**附 則**

この規則は、公布の日から施行する。

**附 則** (昭和 41 年規則第 3 号)

この規則は、昭和 41 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則** (昭和 46 年規則第 35 号)

この規則は、公布の日から施行する。

**附 則** (昭和 51 年規則第 48 号)

この規則は、公布の日から施行する。

**附 則** (平成 3 年規則第 40 号)

この規則は、平成 3 年 9 月 1 日から施行する。

**附 則** (平成 11 年規則第 53 号)

この規則は、平成 12 年 1 月 1 日から施行する。

## 大和市消防運営審議会委員名簿

(任 期 令 和 5 年 8 月 3 1 日 まで)

令和 3 年 9 月 1 日 現在

敬称略順不同

No.		氏 名	選 出 区 分	備考
1	委 員	こすげ みのる 小菅 実	消防団の役員の職にある者 (大和市消防団)	
2	委 員	くぜ とみお 久世 富雄	知識経験を有する者 (大和市消防火の丸会)	
3	委 員	いしおか よしひこ 石岡 嘉彦	知識経験を有する者 (大和市自治会連絡協議会)	
4	委 員	とみざわ こくし 富澤 克司	知識経験を有する者 (大和市消防協力会)	
5	委 員	すさき ただひろ 須崎 忠博	知識経験を有する者 (大和市防火安全協会)	
6	委 員	た い いちこ 田井 市子	市長が必要と認めた者 (大和市赤十字奉仕団)	
7	委 員	しみず ちづこ 清水 千津子	市長が必要と認めた者 (大和市防災協力員)	
8	委 員	こいずみ やえこ 小泉 八重子	市長が必要と認めた者 (大和市社会福祉協議会)	
9	委 員	たかの やすひろ 高野 安弘	市長が必要と認めた者 (公 募)	
10	委 員	ともの はるお 友野 春夫	市長が必要と認めた者 (公 募)	

## 2 議題

- (1) 会長の互選について
- (2) 会長職務代理選出について

(案)

### ◎会長

氏 名	選出区分・選出団体
石岡 嘉彦 委員	知識経験を有する者・大和市自治会連絡協議会

### ○会長職務代理

氏 名	選出区分・選出団体
小菅 実 委員	消防団の役員の職にある者・大和市消防団

### 説明

大和市消防運営審議会規則第3条に「審議会に会長を置き、委員の互選によってこれを定める。会長は会務を総理し、審議会を代表する。会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する。」とあります。

事務局からの案としては、市内自治会の執行機関の役員で、本委員会で実績のある石岡 嘉彦 委員を会長に推薦します。

また、石岡委員の指名に基づき、小菅 実 委員を会長職務代理に指名します。

令和2年度決算(歳入)【大和市消防本部】

資料 3

(単位:円)

款 項 目 節	令和2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	充当科目 (充当事業)
15 使用料及び手数料					
01 使用料					
6 消防使用料	1,437,850	1,438,532	△ 682	△ 0.05	
01 消防使用料	1,437,850	1,438,532	△ 682	△ 0.05	
	〔消防総務課〕				
01 土地使用料				1,437,850	
・消防水利施設使用料				(3,000)	
(桜森3-1465防火水槽)			電柱	1本×2,760	
(つきみ野5-7-11防火水槽)			上空線路	2本× 120	
・非常備消防施設使用料				(16,692)	
(第3分団2班)			電柱	1本×3,720	
			支線1条	1本×924	
(第3分団3班)			電柱	1本×3,720	
(第10分団2班)			電柱	1本×2,760	
(第12分団)			電話柱	1本×3,720	
(第12分団)			支線2条	1,848	
・常備消防施設使用料(西出張所)				(3,720)	
			電柱	1本×3,720	
・職員自家用車駐車使用料				(1,414,438)	
02 手数料					
05 消防手数料	647,000	1,105,750	△ 458,750	△ 41.5	
01 消防手数料	647,000	1,105,750	△ 458,750	△ 41.5	
	〔予防課〕				
01 危険物施設設置許可及び検査手数料					
・設置許可手数料			2件	(65,000)	
・変更許可手数料			15件	(283,500)	
・設置完成検査手数料			6件	(97,500)	
・変更完成検査手数料			12件	(114,000)	
・仮使用承認手数料			9件	(48,600)	
・仮取扱承認手数料			6件	(32,400)	
計			50件	641,000	
02 少量危険物等タンク検査手数料			1件	6,000	
計			51件	647,000	
16 国庫支出金					
02 国庫補助金					
08 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	5,137,000	0	5,137,000	100.0	消防分のみ
01 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	5,137,000	0	5,137,000	100.0	消防分のみ
	〔管理課〕				
09 救急活動事業補助金				3,853,960	10-09-01-01-34
・感染防止衣(上)(下)他部隊活動用感染防止消耗品				(3,853,960)	救急隊管理消耗品
	〔警防課〕				
24 消防庁舎維持管理事務補助金				1,283,040	10-09-01-01-10
・南分署、西、柳橋出張所仮眠室カーテン設置修繕費				(1,283,040)	庁舎修理

令和2年度決算(歳入)【大和市消防本部】

資料 3

(単位:円)

款 項 目 節	令和2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	充当科目 (充当事業)
17 県支出金					
02 県補助金					
06 消防費県補助金	9,535,000	34,794,000	△ 25,259,000	△ 72.6	
01 市町村地域防災力強化事業費補助金	9,535,000	34,794,000	△ 25,259,000	△ 72.6	
	[予防課]				
01 少年消防団支援事業補助金	202,000				10-09-01-01-21
・少年消防団活動服	(12,000)				少年消防団員活動服
・少年消防団活動用物品	(40,000)				少年消防団活動用消耗品
・少年消防団補助金	(150,000)				少年消防団補助金
	[救急救命課]				
02 応急手当普及啓発事業補助金	424,000				10-09-01-01-27
・AEDトレーナー	(76,000)				AEDトレーナー等
・心肺蘇生訓練用人形(成人)	(242,000)				
・心肺蘇生訓練用人形(小児)	(52,000)				
・心肺蘇生訓練用人形(乳児)	(54,000)				
	[管理課]				
03 地域防災訓練事業補助金	644,000				10-09-01-01-36
・消耗品(啓発パンフレット)	(220,000)				地域防災訓練用消耗品
・スタンドパイプ消火資機材(啓発用格納庫型)	(81,000)				スタンドパイプ消火資機材
・スタンドパイプ消火資機材啓発用看板	(343,000)				スタンドパイプ消火資機材啓発用品
	[警防課]				
04 消防団員被服貸与事務補助金	3,167,000				10-09-01-02-03
・防火衣、防火帽、防火ズボン	(2,679,000)				消防団員被服整備
・防火長靴	(488,000)				
05 消防団活動用資機材整備事業補助金	5,098,000				10-09-01-02-05
・LEDバルーン投光器	(1,164,000)				消防団員活動用消耗品
・ガンタイプノズルストッパー付き	(560,000)				消防団員用資機材購入費
・シャットオフホールバルブ	(145,000)				
・強力ライト	(173,000)				
・切創防止用保護衣	(70,000)				
・消防団専用スタンドパイプ消火資機材一式	(2,986,000)				
19 寄附金					
01 寄附金					
07 消防費寄附金	38,940,000	0	38,940,000	100.0	
01 消防費寄附金	38,940,000	0	38,940,000	100.0	
	[警防課]				
01 救急車購入のための寄附金	38,940,000				10-09-01-03-03
・令和2年度高規格救急自動車(車載資機材含む)	(38,940,000)				高規格救急自動車

令和2年度決算(歳入)【大和市消防本部】

資料3

(単位:円)

款項目節	令和2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	充当科目 (充当事業)
22 諸収入					
05 雑入					
01 雑入	19,814,903	13,349,345	6,465,558	48.4	
01 雑入	19,814,903	13,349,345	6,465,558	48.4	
	〔消防総務課〕				
14 消防団員遺族補償年金				1,926,099	10-09-01-01-10 遺族補償年金
・元消防団部長 新保福一氏の妻に対する遺族補償年金				(1,926,099)	
	〔警防課〕				
15 消防団員退職報償金				10,151,000	10-09-01-02-06 消防団員退職報償金
・消防団員退職報償金(28名分)				(10,151,000)	
22 その他収入				7,737,804	
	〔消防総務課所管分〕				
・光熱水費負担金				(7,716,359)	10-09-01-01-10 光熱水費
・自動販売機6社分				(408,000)	
・消防学校派遣職員給与費				(7,308,359)	
	〔警防課所管分〕				
・自動車損害共済分担金				8,357	
消防団 小型動力付ポンプ積載車(相模88た8937)				(7,767)	
・自動車損害賠償責任保険料				(590)	
高規格救急自動車(相模830さ4119)					
				(13,088)	
	〔管理課所管分〕				
・自動車損害共済分担金				(7,742)	
北分署救急車(相模830つ1119)				3,997	
多目的災害対策車(相模800さ8974)				3,745	
・自動車保険料改定差額				(770)	
本署化学車(相模830た3119)					
・物損事故による弁償金				(4,576)	
パイロン破損分					
22 市債					
01 市債					
05 消防債	88,000,000	388,100,000	△ 300,100,000	△ 77.3	
01 消防債	88,000,000	388,100,000	△ 300,100,000	△ 77.3	
	〔警防課〕				
01 初期消火用資機材整備事業債				4,200,000	10-09-01-02-05 消防団員用資機材整備事業
02 消防車両整備事業債				83,800,000	10-09-01-03-03 多目的災害対策車

## 令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

## 資料3

(09)消防費 (01)消防費 (01)常備消防費

(単位:円)

目・事業名	令和2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
01 常備消防費	2,298,676,750	2,326,957,982	△ 28,281,232	△ 1.2	
(01) 職員給与費	2,016,313,397	2,026,342,899	△ 10,029,502	△ 0.5	
(02) 消防本部内庶務事務	3,029,651	3,471,038	△ 441,387	△ 12.7	《消防総務課》
[部内共通経費]					
* 需用費関係			872,910		
食糧費			0		
職員共通消耗品			(129,026)		
図書追録代			(405,522)		
一般事務消耗品			(247,642)		
震災用備蓄食糧			(90,720)		
OA機器等修繕			0		
* 消防長会関係経費			579,698		
旅費(安全運転管理者会議含む)			(838)		
負担金			(578,860)		
* 安全運転管理者会関係経費(負担金)			30,500		
* 消防長交際費			0		
* 委託料			0		
* その他			1,546,543		
消防業務賠償責任保険			(308,070)		
テレビ視聴料			(222,677)		
電子複写機使用料等			(455,047)		
高速道路使用通行料			(96,950)		
郵便料			(461,433)		
事務連絡旅費			(356)		
部付旅費			0		
運転記録証明書発行手数料			(2,010)		
(03) 消防総務課内庶務事務	5,544	7,715	△ 2,171	△ 28.1	《消防総務課》
[課内共通経費]			5,544		
* 事務連絡旅費			0		
* 一般事務消耗品			(5,544)		
(04) 消防吏員採用事務	647,968	471,260	176,708	37.5	《消防総務課》
[退職で欠員が生じた消防吏員の確保]					
* 普通旅費(藤沢総合健診センター付き添い2回)			1,004		
* 職員採用試験面接官用手引き			12,774		
* 面接試験官用DVD			66,000		
* 職員採用試験問題提供採点処理業務委託			247,060		
1回目 84,040円(29人)、2回目 163,020円(111人)					
* 新採用職員健康診断委託			316,800		
1回目 105,600円(8人)、2回目 211,200円(16人)					
* 採用試験傷害保険			4,330		
1回目 1,000円(29人)、2回目 3,330円(111人)					
(05) 消防被服等貸与事務	18,506,290	19,107,492	△ 601,202	△ 3.1	《消防総務課》
[消防職員被服の集計、購入、貸与事務]					
* 被服購入			18,407,180		
新採用職員貸与被服購入費(7人分)			(4,008,370)		
職員貸与被服購入費			(9,572,780)		
消防隊員用防火衣一式購入費			(4,826,030)		
* 被服修繕費			99,110		
(06) 消防功労者等表彰事務	16,364	27,980	△ 11,616	△ 41.5	《消防総務課》
[消防活動における功績、永年勤続等の功労表彰事務]					
* 消防協力者記念品			15,906		
* 叙勲等申請切手代			458		



## 令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

## 資料 3

(09)消防費 (01)消防費 (01)常備消防費

(単位:円)

目・事業名	令和2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
(07)消防職員研修事業	7,404,037	10,302,750	△ 2,898,713	△ 28.1	《消防総務課》
[消防大学校、消防学校への派遣研修等にかかる経費]					
* 講師謝礼			0		
* 資格取得研修旅費(45人)			326,364		
大型自動車運転免許(2人)					
小型移動式クレーン(1人)					
玉掛技能講習(6人)					
伐木等の業務5H補講(15人)					
救急救命士養成研修(2人)					
危険物保安講習(6人)					
潜水士講習(1人)					
* 各種資格取得講習会負担金(45人)			4,078,330		
* 教育機関派遣研修旅費			1,155,742		
消防大学校(1名)					
新任消防長科(1人)					
消防学校(32人)					
初任教育(9人)					
救急科後期(9人)					
* 各種教育機関養成研修負担金			1,335,233		
* その他事務連絡旅費			5,192		
* 資格取得講習テキスト代			34,100		
* 通信運搬費(切手代)			2,386		
* 受験料及び登録手数料			204,900		
* ウイルス抗体検査			30,790		
* 職員研修委託料(評価者研修)			231,000		
(08)消防運営検討事務	69,440	151,300	△ 81,860	△ 54.1	《消防総務課》
[消防運営審議会に係る事務経費]					
* 消防運営審議会委員報酬			69,440		消防職員採用事務へ流用
令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防にかかり委員会の開催を見送り					
*委員数10人、男:6、女4 (消防団役員、知識経験、その他)					

令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

資料 3

(09)消防費 (01)消防費 (01)常備消防費

(単位:円)

目・事業名	2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
01 常備消防費(警防所管分)	80,930,628	82,403,173	△ 1,472,545	△ 1.8	
(09)警防課内庶務事務	44,801	33,344	11,457	34.4	《警防課》
【課内共通経費】					
* 事務費			44,801		
・旅費			(2,810)		
・警防担当消耗品			(41,991)		
(10)消防庁舎維持管理事務	65,504,237	66,631,287	△ 1,127,050	△ 1.7	《警防課》
【消防庁舎5施設及び付属棟の維持管理】					
* 消耗品			499,660		
庁舎維持管理消耗品			(携帯電話付属品、トイレトーパー、蛍光灯、ゴミ袋等)		
* 燃料費			219,720		
プロパンガス(西出張所)					
* 光熱水費			24,848,553		
消防庁舎5施設の光熱水費			(電気:5施設、都市ガス:4施設、上水道:5施設、下水道:3施設)		
* 物品修繕			199,100		
庁用備品等の修繕					
* 施設修繕			5,889,862		
・仮眠室カーテン設置修繕			(1,283,040)		
・南分署ホース巻上機修繕			(935,000)		
・非常用発電設備修繕			(682,000)		
・増築棟冷却ポンプ交換修繕			(407,000)		
・柳橋出張所屋根修繕			(378,400)		
・北分署乾燥室修繕			(352,000)		
・その他施設修繕(25件)			(1,852,422)		
* 通信運搬費			794,205		
・電話料(12回線)			(794,205)		
* 手数料			504,530		
・施設検査手数料			(119,150)		
(小規模受水槽、浄化槽、高圧ガス保安検査)					
・庁舎カーテン洗濯代			(160,380)		
・廃棄物処理手数料			(225,000)		
* 保険料			178,800		
建物保険			(施設賠償責任保険、建物総合損害共済基金分担金)		
* 委託料			32,282,027		
・消防庁舎管理業務委託			(15,174,492)		
・浄化槽保守点検業務			(105,600)		
・浄化槽引抜清掃作業			(89,100)		
・消防庁舎空調機保守点検委託			(12,540,000)		
・サニタイザーMK7、エアフレッシュナーマルチ保守点検委託			(101,821)		
・消防署ネポン温水ヒータ定期点検			(184,800)		
・消防署南分署空調機保守点検業務委託			(188,859)		
・訓練センター昇降機保守点検業務			(627,000)		
・廃電池収集運搬・処分委託			(111,870)		
・産業廃棄物収集・運搬委託及び処分委託			(589,600)		
・消防庁舎消防用設備等保守点検委託			(990,000)		
・連結送水管耐圧検査再委託			(59,400)		
・産業廃棄物収集運搬作業及び処分(蛍光管)			(31,735)		
・グリストラップ清掃作業			(90,530)		
・高圧ガス製造施設保守点検委託			(825,000)		
・構内交換電話MX900IP設備保守			(264,000)		
・やまと防災パーク消火ポンプ等保守点検委託			(49,500)		
・緊急遮断弁保守点検業務委託			(258,720)		
* 原材料費			87,780		
訓練施設改修材料(ベニヤ・角材等)					

## 令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

## 資料3

(09)消防費 (01)消防費 (01)常備消防費

(単位:円)

目・事業名	2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
(11)消防水利施設維持管理事業	9,359,810	9,070,513	289,297	3.2	《警防課》
[消火栓や防火水槽等消防水利施設の維持管理経費]					
＊ 施設修繕費及び消耗品			4,181,870		
＊ 保険料 標識賠償保険			5,000		
＊ 業務委託料(高木移植委託費)			268,400		
＊ 使用料及び賃借料:防火水槽用地賃借料(8ヶ所)			330,153		
＊ 水利施設補修材料			126,500		
＊ 負担金消火栓の維持管理負担金			4,447,887		
※水道局との協定に基づくもの					
(12)都市間等災害協力推進事業	1,145,775	1,282,838	△ 137,063	△ 10.7	《警防課》
[近隣都市及び関係機関との協定、情報交換に係る経費]					
＊ 旅費 災害協力推進事業事務連絡旅費			1,592		
＊ 需用費 緊急消防援助隊活動用消耗品			1,134,183		
＊ 負担金 高速道路神奈川県消防協議会負担金			10,000		
(13)消防啓発事業	54,120	726,344	△ 672,224	△ 92.5	《警防課》
[消防出初式に係る経費]					
＊ 報償費 (消防出初式演技者記念品)			0		
＊ 需用費 (消防出初式消耗品)			10,780		
＊ 委託料 (消防出初式会場設営委託料)			0		
＊ 原材料費 (出初式設営用ベニア・石灰岩ダスト・垂木)			43,340		
(14)災害情報機器等整備管理事務	4,821,885	4,658,847	163,038	3.5	《警防課》
[災害情報機器等の整備及び管理に係る経費]					
＊ 需用費 災害情報収集消耗品			99,914		
			49,852		
災害情報機器の修繕(無人航空機等)					
＊ 役務費 通信運搬			3,339,311		
(iPad:6台、ビジネスWi-Fi:1回線、携帯電話34台)					
＊ 委託料 災害情報機器保守点検(MATRICE210)			220,000		
＊ 使用料 LINEWORKS使用料			3,960		
＊ 備品購入費 備品			1,108,848		
・赤外線ドローン一式(DJI社製MAVIC2) 2基 (1,108,848)					

## 令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

## 資料 3

## (09)消防費 (01)消防費 (01)常備消防費

(単位:円)

目・事業名	2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
常備消防費(予防課所管分)	3,609,298	10,236,582	△ 6,627,284	△ 64.7	
(15)予防課内庶務事務	1,541,290	1,053,110	488,180	46.4	《予防課》
[課内共通経費]					
* 報酬・手当			1,390,942		
* 事務連絡費・旅費			0		
* 一般事務消耗品			95,568		
* 検査機器等修繕			22,000		
* 備品購入費			32,780		
パンフレットスタンド					
(16)危険物施設等許認可指導事務	68,041	82,446	△ 14,405	△ 17.5	《予防課》
[消防法に定める危険物施設等の認可、完成検査等立入検査に係る事務]					
* 事務連絡費及び研修旅費			2,074		
* 一般事務消耗品及び参考図書			42,163		
* 危険物車両検査済証印刷			23,804		
危険物車両検査済証			(7,304)		
立入検査結果通知書			(16,500)		
(17)住宅防火対策事業	286,990	515,020	△ 228,030	△ 44.3	《予防課》
[住宅防火思想の普及啓発のため、住宅防火訪問診断や各種広報活動等を行う経費]					
* 消耗品			286,990		
住宅防火対策啓発物品			(66,990)		
住宅防火対策広報用物品			(135,300)		
住宅防火モデル地区啓発物品			(84,700)		
* 住宅防火訪問診断票			0		
(18)防火管理・保安体制等確立 支援事業	150,165	271,793	△ 121,628	△ 44.8	《予防課》
[防火管理者資格取得講習会、防火講演会等に関する経費]					
* 訓練用消耗品			150,165		
* 防火安全協会補助金			0		
*大和市防火安全協会、会長:須崎 忠博、会員数:133事業所					
(19)火災予防査察事務	431,249	178,953	252,296	141.0	《予防課》
[防火対象物に立入り、検査指導に係る経費]					
* 事務連絡及び研修旅費			0		
* 一般事務消耗品、参考図書			191,449		
* 立入検査結果通知書印刷			30,800		
立入検査結果通知書印刷(20冊)					
* 通信実務情報サービス			26,400		
* 備品購入費			182,600		
超音波厚さ計					
(20)防火対象物 消防用設備設置指導事務	134,297	135,360	△ 1,063	△ 0.8	《予防課》
[消防用設備等設置のための書類審査等に係る経費]					
* 事務連絡及び研修旅費			0		
* 一般事務消耗品及び法令関係図書			64,997		
* 簡易輝度測定器校正費			69,300		
(21)少年消防団支援事業	768,136	7,428,470	△ 6,660,334	△ 89.7	《予防課》
[火災予防及び防災思想の普及啓発を図るため、少年消防団を結成し育成活動を行う経費]					
* 少年消防団研修・活動等旅費			0		
* 少年消防団被服等消耗品			202,537		
* 少年消防団補助金			565,599		
*交付先:大和市少年消防団運営委員会、会長:山崎 潤一、団員数:181人					
事業:新型コロナウイルス感染症対策のため訓練等中止、団通信の発行、被服の更新					

## 令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

## 資料 3

(09)消防費 (01)消防費 (01)常備消防費

(単位:円)

目・事業名	2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
(22)火災予防広報事業	229,130	571,430	△ 342,300	△ 59.9	《予防課》
[火災予防思想の普及啓発のための広報活動等に係る経費]					
春・秋季火災予防運動、放火防止対策、防火パトロール、消防体験フェスティバル等					
* 防火ポスター応募者記念品			0		
* 消耗品			49,830		
放火防止対策消耗品			(49,830)		
火災予防広報消耗品			(0)		
* 印刷製本			179,300		
放火防止掲示板			(179,300)		
防火ポスター印刷			(0)		
* 自動車使用料			0		
ミニ消防車運搬					

目・事業名	2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
常備消防費(指令課所管分)	79,215,732	70,128,051	9,087,681	13.0	
(23)指令課内庶務事務	248,436	256,118	△ 7,682	△ 3.0	《指令課》
[課内共通経費]					
* 普通旅費				0	
* 指令担当消耗品				17,978	
* 寝具リース契約(長期)				230,458	
(24)119番等受信出動指令					《指令課》
事務	8,193,380	8,453,950	△ 260,570	△ 3.1	
[通信指令に必要な専用回線等の維持]					
* 通信指令施設通信費				8,193,380	
FAX回線使用料				( 51,331 )	
車両動態端末通信料				( 126,720 )	
車両動態端末接続装置使用料				( 92,400 )	
専用線使用料				( 1,578,984 )	
緊急通報システム用回線使用料				( 31,046 )	
指令台発信専用電話回線使用料				( 146,452 )	
転送回線使用料				( 63,086 )	
緊急車両動態専用線使用料				( 615,384 )	
指令情報伝送専用線使用料				( 2,909,028 )	
位置情報通知装置使用料(固定)				( 665,016 )	
位置情報通知装置使用料(IP・携帯)				( 841,440 )	
ADSL専用線使用料				( 67,068 )	
インターネット用光回線使用料				( 58,298 )	
プロバイダー通信使用料				( 86,900 )	
市民向け音声ガイダンス使用料				( 317,486 )	
順次指令装置回線使用料				( 9,192 )	
デジタル無線共通波回線使用料(大和分)				( 513,492 )	
FAX県外送信				( 151 )	
指令台県外送信				( 106 )	
アットサーチ通信料				( 19,800 )	
(25)通信指令装置維持管理					《指令課》
事務	70,773,916	61,417,983	9,355,933	15.2	
[通信指令施設の維持管理にかかる経費]					
* 需用費				907,940	
指令装置消耗品				( 310,090 )	
一般修繕費				( 597,850 )	
* 無線機免許申請				184,800	
* 委託料				43,396,100	
多言語通訳サービス保守委託				( 264,000 )	
Net119緊急システム保守委託				( 565,400 )	
通信指令施設保守委託				( 42,566,700 )	
内訳 指令装置保守委託				( 30,030,000 )	
デジタル無線活動波保守委託				( 9,560,100 )	
デジタル無線共通波保守委託(大和分)				( 2,976,600 )	
* 使用料及び賃借料				22,615,670	
車両動態位置管理端末装置賃借(長期継続契約分)				( 18,795,480 )	
高機能指令装置賃借(長期継続契約分)				( 3,820,190 )	
* 備品購入費				1,218,800	
無線機				( 825,000 )	
非常用発電機				( 393,800 )	
* 消防・救急デジタル無線共通波管理・運用負担金				2,450,606	
無線回線制御装置負担金(横浜市内設置分)				( 106,942 )	
無線回線制御装置負担金(小田原市内設置分)				( 88,193 )	
遠隔制御装置負担金(神奈川県庁内設置分)				( 115,674 )	
基地局無線装置負担金(相模原市内設置分)				( 2,139,797 )	

## 令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

## 資料 3

## (09)消防費 (01)消防費 (01)常備消防費

(単位:円)

目・事業名	2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
常備消防費(救急救命課所管分)	12,552,979	20,423,020	△ 7,870,041	△ 38.5	
(26)救急救命課内庶務事務	3,457	19,476	△ 16,019	△ 82.2	《救急救命課》
〔課内共通経費〕					
* 事務消耗品			3,457		
(27)応急手当普及啓発事業	2,856,800	3,800,726	△ 943,926	△ 24.8	
〔市民、事業所及び団体を対象にした救命講習に係る経費〕					
* ボランティア指導員謝礼			0		
* 消防救急啓発物品(救急フェア)			0		
* 応急手当普及啓発用消耗品(講習用)			686,665		
* 印刷製本(ステーションシール等)			66,000		
* 物品修繕			0		
* 手数料(講習用毛布洗濯代)			8,415		
* 備品購入(AEDトレーナー、訓練用人形)			2,095,720		
(28)メディカルコントロール推進事	1,900,372	8,076,366	△ 6,175,994	△ 76.5	《救急救命課》
〔救急救命士の研修等に係る経費〕					
* 症例検討講師謝礼			0		
症例検討会(3回×30,000円)					
* MC関係旅費(地区MC協議会、県MC認定部会参加等)			2,478		
* 研修旅費(東機貿セミナー等)			88,556		
* 消耗品(テキスト等)			84,304		
* 物品修繕(高度救命処置訓練人形修理)			156,200		
* 救急救命士賠償責任保険			55,600		
* ウィルス抗体検査等			137,690		
* 通信運搬費			7,374		
* MC協議会負担金、研修等負担金			1,368,170		
MC協議会負担金			(591,920)		
研修等負担金			(776,250)		
就業前研修2人、生涯研修等1人、気管挿管病院実習1人、拡大2行為研修1人					
(29)救護活動用機材整備事業	7,792,350	8,526,452	△ 734,102	△ 8.6	《救急救命課》
〔市内24時間営業のコンビニ等にAEDを設置するための経費〕					
* 使用料 AED使用料(長期継続契約)			7,783,950		
平成28年度			(4,502,778)		
平成29年度			(799,788)		
平成30年度			(1,052,352)		
令和元年度			(941,160)		
令和元年度(屋外・車両)			(487,872)		
* 電気使用料負担金			8,400		

## 令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

## 資料 3

## (09)消防費 (01)消防費 (01)常備消防費

(単位:円)

目・事業名	2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
01常備消防費(管理課所管分)	76,444,862	56,968,954	19,475,908	34.2	
(30)消防署管理課内庶務事務	247,196	299,529	△ 52,333	△ 17.5	《管理課》
[課内共通経費]					
* 事務連絡旅費及び事務消耗品			247,196		
事務連絡旅費			(6,014)		
署庶務管理事務消耗品 一式			(241,182)		
(31)消防車両維持管理事務	50,262,220	27,034,753	23,227,467	85.9	《管理課》
[消防部が管理する車両の維持管理]					
* 食糧費(交通事故被害者見舞等)			1,699		
* 消耗品(車両手入れ用品、消火器)			226,985		
* 燃料費(ガソリン・軽油代)			9,315,900		
ガソリン(49,000リットル)					
軽油 (24,000リットル)					
* 車両法定点検			4,753,991		
車検(15台)					
3か月点検(7台×2回)					
6か月点検(31台)					
12か月点検(23台)					
* 一般整備 車両修繕等			3,726,883		
一般整備(38台分)					
* 役務費(手数料)			135,465		
救急車両カーテン洗濯代			(3,465)		
梯子車積載緩降器点検			(110,000)		
車両用消火器薬剤詰替え			(22,000)		
* 車両保険料			1,028,197		
自賠責保険料(15台)			(175,300)		
任意保険料(38台)			(852,897)		
* 梯子車保守点検委託(3台分)(内、20m級1台 オーバーホール)			28,923,400		
* 高規格救急車搭載器具保守点検委託			1,037,300		
* クレーン保守点検(救助工作車)			127,600		
* 地震体験車起動装置年次点検			286,000		
* 自動車重量税(15台分)			698,800		
(32)消火活動事業	2,734,533	2,895,136	△ 160,603	△ 5.5	《管理課》
[消火活動に係る経費]					
* 消防隊管理消耗品			1,750,690		
充電式LED作業灯、東芝コピーセット等					
* 消防活動用消耗品			154,340		
活動用ベスト、水分補給用飲料水等					
* 消防資機材修繕			391,758		
カッターエッジチェーンソー、空気呼吸器エア漏れ等					
* 初期消火協力者消火器詰替え手数料			16,060		
* 可燃性ガス検知器(5台)点検手数料			305,800		
* 加工用材料(消防訓練用ベニヤ等)			115,885		



## 令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

## 資料 3

(09)消防費 (01)消防費 (01)常備消防費

(単位:円)

目・事業名	2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
(33)救助活動事業	4,392,477	4,292,838	99,639	2.3	《管理課》
[救助活動に係る経費]					
* 報償費(潜水訓練指導 2日間)			60,000		
* 普通旅費			1,194		
県央都市消防行政協議会救助部会					
* 救助隊管理消耗品			685,696		
救助ロープ、感染防止衣、各種オイル等					
* 救助大会用消耗品			1,122,330		
救助ロープ、カラビナ、編上靴等					
* テロ対応資機材消耗品			198,880		
生物剤検知紙等					
* 訓練用消耗品			66,000		
* 救助資機材修繕			430,320		
空気呼吸器エア漏れ、容器ゲージ交換等					
* 検査手数料			1,500,257		
高圧ガス容器耐圧検査及び酸素等充填			(802,527)		
絶縁保護具検査			(227,480)		
銃砲所持許可申請手数料			(17,800)		
可燃性ガス検知器保守点検手数料			(66,000)		
潜水器具点検手数料			(82,500)		
放射線線量計点検手数料			(147,950)		
放射能個人線量計点検手数料			(55,000)		
陽圧式化学防護服気密検査手数料			(88,000)		
容器所有者登録更新手数料			(13,000)		
* 備品購入費			327,800		
救助訓練用マット			(327,800)		
(34)救急活動事業	11,414,935	8,434,533	2,980,402	35.3	《管理課》
[救急活動に係る経費]					
* 救急隊管理消耗品			8,886,588		
感染防止衣、マスク、グローブ等			8,886,588		
内:新型コロナウイルス感染症交付金充当消耗品			(3,853,960)		
* 救急資機材修繕			96,456		
ストレッチャー修理等					
* 手数料			1,056,022		
高圧ガス容器耐圧検査及び酸素等充填			(520,102)		
救急隊毛布等洗濯代			(535,920)		
* 委託料			1,375,869		
感染症産業廃棄物処理			(990,869)		
救急用品滅菌処理			(385,000)		
(35)消防活動管理事務	3,536,924	4,009,308	△ 472,384	△ 11.8	《管理課》
[消防署員の当直に必要な消耗品等購入経費]					
* 当直管理消耗品			514,399		
* 物品修繕			59,455		
洗濯機・乾燥機修理					
* その他使用料			2,963,070		
寝具リース料					

## 令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

## 資料 3

(09)消防費 (01)消防費 (01)常備消防費

(単位:円)

目・事業名	2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
(36)地域防災訓練事業	3,856,577	10,002,857	△ 6,146,280	△ 61.4	《管理課》
[自主防災会の訓練指導経費]					
* 応急手当訓練用消耗品			1,169,102		
ポータースモーク専用液、防災啓発パンフレット等			(958,232)		
スタンドパイプ消火資機材啓発用物品(横断幕、のぼり旗)			(210,870)		
* 燃料費			10,120		
プロパンガス購入費					
* 物品修繕			93,500		
消火体験装置修繕					
* 手数料			8,140		
LPガス耐圧試験					
* 防災訓練事業保険料			232,000		
* 施設賠償責任保険			21,120		
* 工事請負費			698,500		
スタンドパイプ消火資機材移設(中央林間駅)					
* 防災訓練用原材料			29,645		
サクシヨンホース(蛇腹管)					
* 備品購入費			1,594,450		
啓発用スタンドパイプ消火資機材			(307,450)		
スタンドパイプ消火資機材標章			(1,287,000)		

## 令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

## 資料 3

(09)消防費 (01)消防費 (02)非常備消防費

(単位:円)

目・事業名	令和2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
02 非常備消防費	72,128,889	91,334,059	△ 19,205,170	△ 21.0	
(01)消防団員等公務災害補償事業	3,275,226	3,287,027	△ 11,801	△ 0.4	《消防総務課》
[消防団員等の公務災害補償に係る経費]					
* 遺族補償年金			1,926,099		
支給者 故 新保福一氏(S50. 3.22)の妻 珠子氏			(1,926,099)		
* 損害補償費			0		
* 神奈川県消防慰霊碑管理委員会負担金			58,900		
* 消防団員等公務災害補償等共済基金掛金			1,290,227		
算出: 消防団員数(250人)×1,900円+人口(232,922)×2円(消防作業従事者等)+人口(232,922)×1.5円(水防従事者)					
* 人口は平成27年の国勢調査人口					
(02)消防団車両維持管理事業	3,745,194	3,190,088	555,106	17.4	《警防課》
[消防団車両18台の維持管理に係る経費]					
* 車両用維持消耗品			120,483		
* 燃料費	ガソリン、軽油		274,153		
* 物品修繕			2,731,396		
	・一般整備		(1,354,871)		
	・法定点検(車検整備・6ヶ月・12ヶ月)		(1,376,525)		
* 保険料			427,762		
	・自賠責		(54,600)		
	・庁用自動車総合保険(18台分)		(256,100)		
	・市有物件分担金(18台分)		(117,062)		
* 公課費	重量税		191,400		
(03)消防団員被服貸与事務	12,910,755	9,702,605	3,208,150	33.1	《警防課》
[消防団の被服等購入経費]					
* 消耗品			12,891,120		
	・消防団員被服整備		(12,891,120)		
	(防火衣・防火ズボン・防火帽)				
	・消防団操法大会用被服				
* 手数料	洗濯代		19,635		

## 令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

## 資料 3

(09)消防費 (01)消防費 (02)非常備消防費

(単位:円)

目・事業名	令和2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
(04)消防団車庫詰所施設維持管理事務	7,021,343	8,585,031	△ 1,563,688	△ 18.2	《警防課》
〔消防団車庫詰所の維持管理に係る経費〕					
* 施設維持管理消耗品			312,803		
17施設の維持管理消耗品					
* 燃料費			96,362		
灯油:17施設、プロパンガス:10施設					
* 光熱水費			1,007,877		
電気:17施設、都市ガス:5施設、上水道:17施設、下水道15施設					
* 物品修繕			90,288		
17施設の物品修繕費					
* 施設修繕			2,273,832		
・第5分団詰所外壁塗装修繕工事			(1,274,702)		
・第5分団空調機修繕			(348,700)		
・第4分団トイレ修繕			(209,000)		
・第3分団3班内装修繕			(88,000)		
・その他の修繕(7件)			(353,430)		
* 通信運搬費			2,332,794		
・電話料(17施設×12ヶ月)			(518,607)		
・デジタルMCA無線利用料(無線機40台分)			(1,342,800)		
・携帯電話(8台×12ヶ月)			(471,387)		
* 手数料			7,500		
・廃棄物処理手数料(8分団)			(2,000)		
・浄化槽法定点検(10分団3班)			(5,500)		
* 保険料			41,747		
建物保険(建物総合損害共済基金分担金)					
* 委託料			29,150		
浄化槽保守点検委託(10分団3班)					
* 土地・建物使用料			584,683		
・消防団機械器具置場賃借料					
(財務省関東財務局)			(400,884)		
・消防団第10分団3班車庫詰所用地賃借料					
(左馬神社総代)			(183,799)		
* その他使用料			244,307		
・テレビ視聴料NHK(17施設)					
(05)消防団活動用資機材整備事業	16,334,615	9,674,596	6,660,019	68.8	《警防課》
〔消防用ホースなどの資機材購入経費〕					
* 消耗品			2,524,445		
・消防用ホース			(2,017,730)		
・新入団員用活動資機材			(308,000)		
・消防団活動用消耗品			(198,715)		
* 物品修繕			98,670		
* 委託料			179,300		
・MCA無線機点検業務委託					
* 備品購入費			13,532,200		
・資機材					
(シャットオフボールバルブ、スタンドパイプ			(13,532,200)		
LEDバルーン、ガンタイプ、強カライト)					

## 令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

## 資料 3

(09)消防費 (01)消防費 (02)非常備消防費

(単位:円)

目・事業名	令和2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
(06)消防団員手当等支給事務	25,542,873	52,138,436	△ 26,595,563	△ 51.0	《警防課》
[消防団員の報酬や訓練の出動に伴う手当、退職報償金などの経費]					
* 非常勤特別職員報酬(条例)			9,703,373		
			(消防団の役員及び団員報酬)		
* 報償費			773,000		
			・歳末火災特別警戒激励費 (90,000)		
			・消防出初式激励費 0		
			・退職報償金 3人分 (683,000)		
* 費用弁償			8,052,500		
			・災害出動費 (177,500)		
			・警戒訓練等 (7,875,000)		
* 負担金			7,014,000		
			・県央都市消防団長会負担金 (70,000)		
			・神奈川県消防協会負担金 (2,144,000)		
			・消防団員退職報償金共済掛金 (4,800,000)		
			※250人×19,200円		
(07)消防団員健康管理事務	969,100	982,800	△ 13,700	△ 1.4	《警防課》
[消防団員の健康診断にかかる経費]					
* 委託料			969,100		
			・心電図(126人×1,500円=189,000)		
			・胸部X線関節撮影(124×500=62,000)		
			・基本健康診断(126×5,000=630,000)		
			・合計 189,000+62,000+630,000×1.10=969,100		
(08)消防団員研修・技術向上支援事業	429,783	1,873,476	△ 1,443,693	△ 77.1	《警防課》
[消防団員の技術向上のため、研修などに派遣するための経費]					
* 報償費			265,333		
			・消防団員教育講師謝礼 (20,000)		
			※ポンプ使用法指導等		
			・消防団員等表彰記念品 (245,333)		
			※表彰記念品(20年、15年、10年、5年、配偶者)		
* 旅費			0		
			・普通旅費 0		
* 需用費			164,450		
			・食糧費 0		
			・消耗品 (164,450)		
			(消防操法大会消耗品) (76,450)		
			(消防団員募集啓発消耗品) (88,000)		
			(関係図書購入費) 0		
			・印刷製本 0		
* 負担金・補助金			0		
			消防操法大会出場補助金		
(09)消防団運営支援事務	1,900,000	1,900,000	0	0.0	《警防課》
[消防団の活動や運営を支援するための経費]					
* 大和市消防団運営交付金			1,900,000		
			・本団×127,000円 (127,000)		
			・12分団×95,000円 (1,140,000)		
			・5班×45,000円 (225,000)		
			・通信運搬費(12分団×34,000円) (408,000)		

## 令和2年度決算(歳出)【大和市消防本部】

## 資料 3

(09)消防費 (01)消防費 (03)消防施設費

(単位:円)

目・事業名	2年度決算	前年度決算	比較増減	伸率%	備考
03 消防施設費	142,188,007	307,861,230	△ 165,673,223	△ 53.8	
(01)消火栓設置事業	622,600	313,200	309,400	98.8	《警防課》
* 負担金			622,600		
消火栓設置費負担金(新設2基)					
			神奈川県公営企業管理者と市長との間で水道法第24条第2項の規定に基づく補償に関する協定を締結し、負担金を支出している。		
(02)消防活動用資機材整備事業	17,608,767	18,357,054	△ 748,287	△ 4.1	《警防課》
[空気呼吸器、消防用ホース等の資機材及び装備品購入経費]					
* 消耗品			6,428,257		
			・切創防止用保護衣	(197,505)	
			・消防用ホース(呼称50・65/20m)	(3,515,600)	
			・墜落制止用器具胴ベルト	(173,800)	
			・消防用ホース(呼称65/5・10m)	(382,800)	
			・その他(空気呼吸器用面体等ほか)	(2,158,552)	
* その他備品			11,180,510		
			・緊急除染用簡易水槽	(79,200)	
			・多数傷病者対応資機材一式	(3,850,000)	
			・ボアテックスノズル	(426,800)	
			水難用隊員保護具一式	(352,000)	
			・墜落制止用器具フルハーネス一式	(395,010)	
			・陽圧式化学防護服	(226,600)	
			・その他(空気呼吸器用ボンベ等ほか)	(5,850,900)	
(03)消防車両整備事業	123,956,640	105,902,458	18,054,182	17.0	《警防課》
[消防車両の整備に係る経費]					
* 旅費			26,478		
* 需要費	関係図書購入費		10,230		
* 役務費			148,732		
			・新車登録手数料	(60,000)	
			・自動車リサイクル料	(23,420)	
			・廃車手数料	(700)	
			・自賠責保険料	(15,820)	
			・任意保険料	(48,792)	
* 備品購入費	投資的備品購入費		123,640,000		
			・高規格救急自動車	(38,940,000)	
			・多目的災害対策車	(84,700,000)	
* 公課費	自動車重量税		131,200		

令和 2 年度決算における  
主要な施策の成果の説明書

大 和 市  
(消防本部分抜粋版)





決算書ページ	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費	
159										
事業名	07 消防職員研修事業							担当課	消防総務課	
目的	消防大学校、消防学校への派遣研修等を通じ、知識・技術の習得を図ります。							令和元年度 決算額 <small>(以下単位:千円)</small>		
								10,303		
								令和2年度 予算現額		
手段手法	・資格取得研修や消防学校、消防大学校等の教育機関に派遣するとともに、消防本部においても職員の知識、技術の習得のため自主研修を実施します。							令和2年度 決算額		
								7,404		
								令和2年度 財源内訳		
								国庫支出金	0	
								県支出金	0	
								地方債	0	
								その他	0	
								一般財源	7,404	
令和3年度 予算額										
9,267										
<b>活動内容</b>										
指標	1	研修への派遣人数			2	資格取得派遣			3	4
		消防大学校等の教育機関への派遣			各種資格取得のための派遣					
	予定 (目標)	33	人		45	人				
	令和2年度実績	19	人		37	人				
令和元年度実績	34	人		56	人					
具体的内容	【     】内は前年度数値									
	専門的知識・技術の習得と資格取得等のために関係機関へ職員を派遣しました。 <事業内容> 派遣研修（専門的知識・技術） ・消防学校                      2科目  18人【12科目  31人】 ・消防大学校                    1科目  1人【  3科目  3人】 資格取得等（資格・特別教育の受講） ・救急救命士資格                      2人【                  2人】 ・大型自動車免許                      2人【                  4人】 ・その他資格取得                    7科目  33人【13科目  50人】 <決算額の内訳> ・職員研修旅費等    1,487千円 ・各種教育機関養成研修負担金等                           5,414千円 ・その他    503千円									
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの研修が中止となったため、事業費が令和元年度に比べ減少しました。</li> <li>・今後も引き続き消防職員がその任務の遂行に必要な専門的知識及び技術の習得を図り、確固たる使命感と倫理観を持った職員育成のため派遣を実施する必要があります。</li> <li>・研修修了者が、所属職員に研修内容を報告することにより、説明能力の向上や職員全体のレベルアップに努める必要があります。</li> </ul>									

決算書ページ	159	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費	
事業名	17 住宅防火対策事業							担当課	予防課		
目的	火災による人的被害を低減するため、住宅の防火対策を推進します。							令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 515		
								令和2年度 予算現額	480		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅防火訪問診断を実施します。</li> <li>各種広報媒体を活用し、住宅防火思想の普及啓発を行います。</li> </ul>							令和2年度 決算額	287		
								令和2年度 財源内訳			
								国庫支出金	0		
								県支出金	0		
								地方債	0		
								その他	0		
一般財源	287										
令和3年度 予算額	368										
<b>活動内容</b>											
指標	1	住宅防火訪問診断数	2	住宅用火災警報器広報	3	住宅防火対策に係る講話	4	住宅防火モデル地区における火災予防啓発活動			
		住宅防火訪問診断の実施件数		住宅用火災警報器普及啓発に係る広報実施回数		住宅防火対策に係る講話等の実施回数		住宅防火モデル地区火災予防啓発チラシ配布件数			
	予定(目標)	176 件	8 回	4 回	7,000 件						
	令和2年度実績	2 件	6 回	1 回	4,715 件						
	令和元年度実績	122 件	8 回	4 回	3,042 件						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【   】内は前年度数値</p> <p>火災による人的被害を低減するため、住宅防火の広報等を実施しました。</p> <p>&lt;事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅防火訪問診断の実施（事業は中止。公募のみ） 2件【122件】</li> <li>地域の住民を対象に防火講話の実施 1回【4回】</li> <li>住宅用火災警報器の適正な維持管理と、未設置世帯への設置促進及び設置支援の実施 1世帯【6世帯】</li> <li>住宅用火災警報器の設置と維持管理についての横断幕を設置（市内3か所）</li> <li>各種広報媒体を活用した住宅防火に関する市民への啓発</li> </ul> <p>&lt;決算額の内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品 287千円</li> <li>印刷製本 0千円</li> </ul>										
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>より多くの市民に対し効率的な住宅防火対策の普及啓発が行えるよう、広報の方法、場所、内容を見直し、特に住宅防火訪問診断の公募、住宅防火に関する講話の開催、住宅用火災警報器の設置と維持管理について積極的なアピールを行います。</li> </ul>										

決算書ページ	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
101									
事業名	27 応急手当普及啓発事業							担当課	救急救命課
目的	救命率の向上を図ります。							令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 3,801
								令和2年度 予算現額	4,782
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、事業所及び団体を対象に、各種救命講習会を開催します。</li> <li>・事業所などに設置されているAED（自動体外式除細動器）を、緊急時に提供していただけるよう「やまとAED救急ステーション」として認定します。</li> <li>・シリウス4階の健康テラスで、応急手当が学べる「救急ミニ講座」を開催し、更なるAEDの普及啓発に努めます。</li> </ul>							令和2年度 決算額	2,857
								令和2年度 財源内訳	
								国庫支出金	0
								県支出金	424
								地方債	0
								その他	0
令和3年度 予算額	1,778								
<b>活動内容</b>									
指標	1	普通救命講習会参加数	2	上級救命講習会参加数	3	応急手当講習会参加数	4	応急手当普及員講習会参加数	
		国が定めた3時間の救命講習		国が定めた8時間の救命講習		3時間に満たない救命講習		国が定めた応急手当普及員を養成する24時間の講習	
	予定(目標)	3,120 人	720 人	4,100 人	60 人				
	令和2年度実績	291 人	0 人	1,527 人	0 人				
	令和元年度実績	3,369 人	447 人	4,107 人	66 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市内在住・在勤・在学の中学生以上を対象に、各種救命講習会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通救命講習会 46回【152回】</li> <li>・上級救命講習会 0回【23回】</li> <li>・応急手当講習会 50回【114回】</li> <li>・応急手当普及員講習会 0回【7回】</li> <li>・応急手当普及員再講習会 1回【1回】</li> </ul> <p>市内中学校及び小学校の授業内で、救命講習会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校 5校【9校】</li> <li>・小学校 1校【11校】</li> </ul> <p>やまとAED救急ステーション 4事業所【8事業所】</p> <p>&lt;決算額の内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講習会消耗品 687千円</li> <li>・備品及びその他 2,170千円</li> </ul>								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において、救命講習会の開催や受講者数に制限を設けて実施したため、受講者数は大幅に減少しましたが、救命に関する動画配信やWEB講習等を有効に活用して、市民への普及啓発に努めていく必要があります。</li> <li>・応急手当の知識を必要としているものの、国が定める3時間以上の普通救命講習会に参加できない市民に対しては、市民ニーズに合わせた講習会を開催していく必要があります。</li> <li>・小、中学校での救命講習会の実施に向け、校長会での説明等により、全校実施を目指します。</li> </ul>								

決算書ページ	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
161									
事業名	28 メディカルコントロール推進事業							担当課	救急救命課
目的	救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置の知識・技術の維持及び向上を図ります。							令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 8,076
								令和2年度 予算現額	5,783
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な教育研修・訓練に救急救命士を含む救急隊員を派遣します。</li> <li>神奈川県メディカルコントロール協議会指導救命士制度運用要綱に基づき、指導救命士の認定を行います。</li> <li>県北・県央地区メディカルコントロール協議会で定める実施基準に基づき、救急救命士を含む救急隊員の研修に伴うポイントを適切に管理します。</li> </ul>							令和2年度 決算額	1,900
								令和2年度 財源内訳	
								国庫支出金	0
								県支出金	0
								地方債	0
								その他	0
令和3年度 予算額	5,421								
<b>活動内容</b>									
指標	1	救急救命士就業前、生涯研修実施割合	2	気管挿管認定救急救命士資格取得割合	3	教育研修回数	4		
		救急救命士として現場活動するための研修		救急救命士の気管挿管認定資格の割合		消防本部主催回数			
	予定(目標)	70 %	70 %	2 回					
	令和2年度実績	8 %	86 %	2 回					
令和元年度実績	100 %	97 %	2 回						
具体的内容	<p>救急救命士の各種研修を実施しました。</p> <p>&lt;研修実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業前研修 2人【7人】</li> <li>・生涯研修 1人【25人】</li> </ul> <p>&lt;新資格研修&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気管挿管認定救命士 1人【3人】 認定資格者合計38人【39人】</li> <li>・拡大2行為認定救命士 1人【0人】 認定資格者合計44人【43人】</li> </ul> <p>&lt;決算額の内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修負担金 776千円</li> <li>・県北・県央地区メディカルコントロール協議会負担金 592千円</li> <li>・その他 532千円</li> </ul>							【 】内は前年度数値	
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急救命士の認定資格取得研修や生涯研修等への派遣が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、事業費が令和元年度に比べ減少しました。</li> <li>・救急業務に携わる救急隊員の知識・技術の向上のためには、救急救命士を含む救急隊員が病院実習を受けられる体制を継続していく必要があるため、県北・県央地区メディカルコントロール協議会と連携して、救急救命士を含む救急隊員に必要な教育体制の確保を図ります。</li> </ul>								

決算書ページ 161	款	09	項	01	目	01	常備消防費		
事業名	29 救護活動用機材整備事業						担当課	救急救命課	
目的	心肺停止状態の傷病者が、早期に除細動の処置を受けることができる環境を整備します。						令和元年度 決算額 (以下単位:千円)		
							8,526		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の24時間営業のコンビニエンスストア、公共施設、郵便局及び大規模集合住宅等にAED（自動体外式除細動器）を設置し、維持管理します。</li> </ul>						令和2年度 予算現額		
							8,153		
							令和2年度 決算額		
							7,792		
							令和2年度 財源内訳		
							国庫支出金	0	
							県支出金	0	
地方債	0								
その他	0								
一般財源	7,792								
令和3年度 予算額									
9,299									
活動内容									
指標	1	AEDの定期点検 維持管理確認のための動作点検 (6ヶ月毎)			2		3		4
	予定 (目標)	250	回						
	令和2年度 実績	240	回						
	令和元年度 実績	236	回						
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【   】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニエンスストア、郵便局及び大規模集合住宅に設置しているAED（自動体外式除細動器）の定期的な点検を実施しました。</li> </ul> <p>&lt;事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニエンスストア                   6社102店舗【6社104店舗】</li> <li>郵便局                                   14箇所【    14箇所】</li> <li>大規模集合住宅                       43箇所【    43箇所】</li> </ul> <p>&lt;決算額の内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニエンスストア、郵便局及び大規模集合住宅等のAED使用料 7,792千円</li> </ul>								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗にAED（自動体外式除細動器）が常設されていることが救命率の向上につながることから、開店、閉店または移転の情報を早期に収集する必要があります。</li> <li>設置したAEDについては、定期点検を含めた適切な維持管理を図っていく必要があります。</li> <li>市民が24時間AEDを使用でき、心肺停止状態の傷病者に対し、早期に除細動が実施できる環境を継続して整備する必要があります。</li> </ul>								



決算書ページ 16士	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費		
事業名	34 救急活動事業								担当課	消防署管理課	
目的	病気又は怪我による傷病者に、救命処置等を実施しながら、医療機関に搬送することで、救命率の向上を図ります。								令和元年度 決算額 (以下単位:千円)		8,435
									令和2年度 予算現額		12,752
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急隊を6隊配置し、傷病者に応急処置又は救命処置を行い、迅速に医療機関へ搬送します。</li> <li>重度傷病者の収容時及び心肺機能停止状態の傷病者が発生した時などは、消防隊との連携により救急活動を行っています。</li> </ul>								令和2年度 決算額		11,415
									令和2年度 財源内訳		
									国庫支出金	3,854	
									県支出金	0	
									地方債	0	
									その他	0	
令和3年度 予算額		12,321									
<b>活動内容</b>											
指標	1	救急出動時の現場到着時間		2	救急車定期消毒回数		3	救急資機材点検日数		4	
		指令から現場到着までの平均所要時間(10進法)			救急車両内及び資機材定期消毒回数			救急資機材の日常点検日数			
	予定(目標)	5.89	分	84	回	365	日				
	令和2年度実績	6.18	分	84	回	365	日				
令和元年度実績	5.89	分	84	回	366	日					
具体的内容	【 】内は前年度数値										
	<p>&lt;実績の内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急出動件数 <ul style="list-style-type: none"> <li>急病 6,870件【7,544件】</li> <li>一般負傷 1,682件【1,769件】</li> <li>交通事故 736件【839件】</li> <li>その他 1,559件【1,725件】</li> </ul> </li> <li>救急搬送人員 <ul style="list-style-type: none"> <li>急病 6,531件【7,089件】</li> <li>一般負傷 1,596件【1,654件】</li> <li>交通事故 695件【794件】</li> <li>その他 1,029件【1,224件】</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;決算額の内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急隊管理消耗品 8,887千円</li> <li>酸素容器検査等 520千円</li> <li>その他 2,008千円</li> </ul>										
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止対策のため隊員防護に係る消耗品や感染性廃棄物等の処理に伴う経費が前年度と比較して増額となりました。</li> <li>救急出動件数は若干の減少傾向になりましたが、未だ1万件を超える高い水準になっています。</li> <li>新型コロナウイルスは未だ終息の目途が立っていない状態です。引き続き感染防止対策を行いながら、傷病者に適切な処置を行い医療機関へ早期に搬送できるよう努めます。</li> </ul>										

決算書ページ 16+	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費	
事業名	36 地域防災訓練事業							担当課	消防署管理課	
目的	地震災害などに備えるため、市民の防火防災に対する知識や技術を高めます。							令和元年度 決算額 (以下単位:千円)		10,003
								令和2年度 予算現額		4,554
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織の要望により訓練習熟度に合わせた初期消火訓練、負傷者救護訓練、心肺蘇生訓練、地震体験訓練等の地域防災訓練を指導します。</li> </ul>							令和2年度 決算額		3,857
								令和2年度 財源内訳		
								国庫支出金	0	
								県支出金	644	
								地方債	0	
								その他	0	
一般財源	3,213									
令和3年度 予算額		3,353								
<b>活動内容</b>										
指標	1	訓練実施数	2	訓練実施組織数	3	訓練参加者数	4			
	訓練申込件数		訓練参加延べ組織数		訓練参加延べ人数					
	予定 (目標)	55 件	150 組織	5,500 人						
	令和2年度実績	2 件	8 組織	208 人						
令和元年度実績	34 件	83 組織	3,322 人							
具体的内容	<p style="text-align: right;">【     】内は前年度数値</p> <p>&lt;事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放水訓練 50人【2,142人】</li> <li>心肺蘇生訓練 0人【2,835人】</li> <li>震度体験訓練 0人【1,429人】</li> <li>AED取扱訓練 0人【2,870人】</li> </ul> <p>&lt;決算額の内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>備品購入費 1,594千円</li> <li>消耗品 1,169千円</li> <li>保険料、その他 1,094千円</li> </ul>									
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタンドパイプ消火資機材や可搬ポンプの市内設置が完了したため、備品購入費が大幅に減額されました。</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大に伴い地域防災訓練の実施率が大幅に減少しています。</li> <li>市内に設置してあるスタンドパイプ消火資機材の認知度が令和2年度に実施したeモニターアンケート調査で6割となっています。しかし、認知度を高める余地があるため、生産年齢人口にあたる30代～50代に向けた普及啓発活動を行い認知度を高める必要があります。</li> </ul>									

決算書ページ 16±	款 09	消防費	項 01	消防費	目 02	非常備消防費
事業名	03 消防団員被服貸与事務				担当課	警防課
目的	消防団員と災害消防協力隊の災害活動時の安全を確保します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					9,703	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員に被服及び防火衣等を貸与します。</li> <li>被服は損傷状態に応じて、消防団員に再貸与します。</li> </ul>				令和2年度 予算現額	
					15,457	
					令和2年度 決算額	
					12,911	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	3,167
					地方債	0
その他	0					
一般財源	9,744					
令和3年度 予算額						
6,882						
<b>活動内容</b>						
指標	1	消防団員被服整備実績	2	防火帽・防火衣(上衣)・ 防火ズボンの整備数	3	防火長靴の整備数
		消防団員への被服一式貸与実績 数		災害現場での安全を確保する被 服の整備		災害現場での安全を確保する被 服の整備
	予定 (目標)	30 式	51 式	51 足		
	令和2年度 実績	30 式	51 式	51 足		
	令和元年度 実績	11 式	7 式	107 足		
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【     】内は前年度数値</p> <p>消防団員の被服を整備しました。</p> <p>&lt;事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員活動用被服一式 30式【 11式】</li> <li>防火帽・防火衣(上衣)・防火ズボン 51式【 7式】</li> <li>防火長靴 51足【107足】</li> </ul> <p>&lt;決算額の内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員被服整備 12,891千円</li> <li>消防団操法大会用被服、その他 20千円</li> </ul>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害等による火災に備え整備した消防団専用スタンドパイプ消火資機材を使用するために必要な防火衣一式の経費が増加したことにより、決算額が増額しました。</li> </ul>					



決算書ページ 161	款 09	消防費	項 01	消防費	目 02	非常備消防費
事業名	05 消防団活動用資機材整備事業				担当課	警防課
目的	消防団員の災害活動の充実、強化を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					9,675	
手段手法	消防団が行う災害活動に対し、適切な資機材を選定し整備します。				令和2年度 予算現額	
					16,669	
					令和2年度 決算額	
					16,335	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	5,098
地方債	4,200					
その他	0					
一般財源	7,037					
令和3年度 予算額		5,631				
活動内容						
指標	1 消火用資機材	2	3	4		
	消防用ホースを計画的に整備します。					
	予定 (目標)	51 本				
	令和2年度実績	51 本				
令和元年度実績	51 本					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【    】内は前年度数値</p> <p>消防団活動用消耗品を整備しました。</p> <p>&lt;事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防用ホース 51本【 51本】</li> <li>・ヘッドライト、ゴーグル 各30個【各15個】</li> <li>・切創防止用保護衣 17着【 0着】</li> </ul> <p>消防団員用の資機材を整備しました。</p> <p>&lt;事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バルーン型投光器 5式【 12式】</li> <li>・消防団専用スタンドパイプ消火資機材 17式【 0式】</li> </ul> <p>&lt;決算額の内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団活動用消耗品、その他 2,803千円</li> <li>・消防団員用資機材購入費 13,532千円</li> </ul>					
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団専用スタンドパイプ消火資機材に係る経費が増加したことにより、決算額が増額しました。</li> <li>・活動用資機材は、使用年数の限られているものが多いため、更新整備を計画的に実施する必要があります。</li> <li>・発生が懸念されている大規模災害に対応するために、資機材の整備や強化が必要です。</li> </ul>				

決算書ページ 165	款 09	消防費	項 01	消防費	目 03	消防施設費
事業名	02 消防活動用資機材整備事業				担当課	警防課
目的	安全かつ迅速な消防活動と、効果的な災害防ぎょ活動を行うために必要な資機材の整備を行います。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					18,357	
手段手法	消防活動に必要な資機材及び装備品を計画的に整備します。				令和2年度 予算現額	
					17,921	
					令和2年度 決算額	
					17,609	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	17,609					
令和3年度 予算額		9,243				
活動内容						
指標	1	空気呼吸器用ポンペ購入	2	消防用ホース購入	3	4
	空気呼吸器の交換用ポンペを整備します。		消火活動に欠かせない消防用ホースを整備します。			
	予定 (目標)	17 本	100 本			
	令和2年度実績	17 本	100 本			
令和元年度実績	13 本	128 本				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【     】内は前年度数値</p> <p>消防活動消耗品を整備しました。</p> <p>&lt;事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救助ロープ 4コイル【4コイル】</li> <li>・消防用ホース 100本【128本】</li> </ul> <p>消防・救助・救急用資機材を整備しました。</p> <p>&lt;事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空気呼吸器用ポンペ 17本【13本】</li> <li>・多数傷病者対応資機材一式 1式【0式】</li> <li>・赤外線ドローン一式 2式【2式】</li> </ul> <p>(災害情報機器等整備管理事務より、同事業科目へ移管)</p> <p>&lt;決算額の内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防活動消耗品 6,428千円</li> <li>・消防・救助・救急用資機材購入費 11,181千円</li> </ul>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資機材の更新整備における方針に沿って、耐用年数が定められている資機材の更新、労働安全衛生規則等の関係法令改正内容に則した資機材の整備及び全国各地で発生した特異災害事象等を注視した資機材を整備しました。</li> <li>・消防活動用資機材整備計画に基づき、消防活動用資機材を計画的に更新整備をします。</li> </ul>					

決算書ページ	163	款	09	消防費	項	01	消防費	目	03	消防施設費	
事業名	03 消防車両整備事業							担当課	警防課		
目的	災害活動の中心となる消防車両を整備し、消防力の向上を図ります。							令和元年度 決算額 (以下単位:千円)			
								105,902			
手段手法	複雑多様化する災害に対応するため、また車両の老朽化に伴う消防力の低下を防ぐため、消防車両等更新基本計画に基づき、各車両の更新・整備を行います。							令和2年度 予算現額			
								123,976			
								令和2年度 決算額			
								123,957			
								令和2年度 財源内訳			
								国庫支出金 0			
								県支出金 0			
地方債 83,800											
その他 38,940											
一般財源 1,217											
令和3年度 予算額											
334,104											
活動内容											
指標	1	購入車両数	2		3		4				
		整備の必要のある車両数									
	予定 (目標)	2 台									
	令和2年度実績	2 台									
令和元年度実績	4 台										
具体的内容	<p style="text-align: right;">【    】内は前年度数値</p> <p>消防車両を整備しました。</p> <p>&lt;事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高規格救急自動車 1台【1台】</li> <li>・多目的災害対策車 1台【0台】</li> <li>・小型水槽付消防ポンプ自動車 0台【1台】</li> <li>・消防団車両（小型動力ポンプ付積載車） 0台【1台】</li> <li>・消防団資機材搬送車 0台【1台】</li> </ul> <p>&lt;決算額の内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資的備品購入費 123,640千円</li> <li>・普通旅費及びその他 317千円</li> </ul>										
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新対象車両の総事業費に係る経費が増額したことにより、決算額が増額しました。</li> <li>・消防力の低下を防ぐため、消防車両等更新基本計画に基づき消防車両を適正かつ計画的に新規更新整備をします。</li> </ul>										